

関西大学文学部学術講演会

少女が見たオキナワ

——「地方の時代」映像祭グランプリ作品「**菜の花の沖縄日記**」——

日時：2019年10月4日（金） 午後2：40 - 4：10

会場：関西大学 千里山キャンパス 第1学舎2号館B301 教室

日本の現代を鋭く映し出す優れたドキュメンタリー作品が集まる《「地方の時代」映像祭》が毎年秋に関西大学を会場に実施されています。2018年のグランプリ受賞作品「菜の花の沖縄日記」（制作：沖縄テレビ）は、2015年春に石川県珠洲市から沖縄県那覇市のフリースクールに入学した坂本菜の花さん（当時15歳）が、地元のおじいやおばあたちと交流する中で知った沖縄戦やその後の米軍基地に起因する様々な問題を柔軟で素直な感性で見つめつつ伸びやかに成長していく姿を深く暖かな眼差しで捉えた作品です。本作品を上映し、制作者（ディレクター）である平良いずみさんご自身に解説していただきます。

「菜の花の沖縄日記」



心の距離を縮めたいー。
石川県から沖縄の学校へ入学するためやってきた坂本菜の花さん（15歳）は、3年間、故郷の新聞コラムの連載「菜の花の沖縄日記」を書き続けた。

希望の島で、15歳の少女がみた、リアル沖縄とは…。

基地政策によって人々の暮らしが脅かされる沖縄の現実一、その中であって希望を抱き生きる若者を追ったドキュメンタリー。

〔沖縄テレビ HP から〕

講師 平良いずみさん（沖縄テレビ報道制作局）

沖縄県那覇市出身。1999年沖縄テレビ入社。2018年ディレクターとして「菜の花の沖縄日記」を制作し、「地方の時代映像祭」グランプリならびに日本民間放送連盟賞テレビ報道番組部門優秀賞を受賞。現在、沖縄テレビ報道制作局報道部副部長として「OTV プライムニュース」などを担当。



問い合わせ先：関西大学文学部 新谷研究室 (06-6368-0486 shintani@kyoto.zaq.ne.jp)